

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいになっています。

秋吉台

錦繡の空にポツカリ熱気球

この日は秋吉台麓では霧や雲海が発生しましたが、台上は快晴、無風の絶好の熱気球日和です。会場の長者ヶ森駐車場では、カラフルな熱気球が快晴の青空に浮かび上がりました。早朝の秋吉台の景色はいかがでしょう。県外ナンバーの車両も見受けられ、多くの人たちが訪れたようです。

秋吉台はすっかり秋のようすです。朝露にぬれて朝日に映える草原は、まさに錦繡です。リンドウなど秋の草花たちも待ちかねています。このさわやかで心地よい季節、秋を満喫しに出かけませんか。



季節の花

秋だけでなく春にも咲くんです

キバナアキギリ 林内の木陰に自生する多年草。シソ科の花ですが、キリの花を思わせることから名付けられました。薄暗い場所に咲く花なので、目をこらして見ないと分からないかも知れません。

ヒメヒゴタイ 日当たりの良い草原などに生える越年草です。直径1cmほどの紅紫色の小さな花が、茎の上部に密集して咲きます。草丈が高いため、比較的遠くからでも見つけられます。

ヤマジノギク 草原などに生える越年草です。茎の上部がたくさん枝分かれして、その先に淡紫色の花を付けます。初秋から晩秋まで長い期間見られる花ですが、秋だけでなくまれに春にも咲かせることがあります。



秋の花の観察会（10月7日） 「花盗人の花日記」

秋の花の観察会を行いました。今にも雨が降り出しそうな天候でしたが、その分、暑さをしのげました。参加者がそろったところで、案内の浅香さんから概要説明があり、早速真名ヶ岳へ向けて出発。花を見ながら興味深いお話を聞きました。今年は気候が変わっていたせいもあってか、例年ならすでに咲いているはずのムラサキセンブリなどが咲いておらず少し残念でしたが、オケラの群生、ウメバチソウやヤマジノギクなどに出会えました。



観察会（10月14日） 「秋吉台の化石」

秋吉台の化石観察と化石採集を行いました。長者ヶ森駐車場を出発し、秋吉台の地形や化石についての説明を聞きながら冠山へ向かいました。頂上付近の展望所からは、ドリーネがたくさんあるのが分かりました。その後、秋吉台科学博物館で化石採集を体験しました。硬い石灰岩をハンマーで割って化石探しです。今年もアンモナイトに続いて巻貝の化石が発見されました。採取した化石は、標本作りのためにそれぞれが持ち帰りました。



ホシアサガオ

小さくて可愛い花ですが、はびこります

ホシアサガオを初めて見たのは20数年前でしょうか。畑の近くだったのでサツマイモの花だと思っていましたが違いました。だとしたらマメアサガオの赤花種だろうと知人に話したら、ホシアサガオだと教えてくれました。花は1cmほどと小さいのですが、草勢は旺盛で、ツルがいくつも枝分かれて伸び、花は数個がまとまっていて順に咲きます。



11月の行事

- 11月4日(土) 体験学習「美東ゴボウの収穫体験」
秋吉台特有の赤土で育った「美東ゴボウ」の収穫を体験します。
- 11月26日(日) 観察会「冬眠中のコウモリを見る」
洞窟で冬眠中のコウモリの様子をそっと観察します。